

波形スレート使用上のご注意

(1) 運搬・保管

- ①直射日光、風雨を避けて屋内で保管してください。なお養生シートを被せることをおすすめいたします。
- ②屋内の硬い平らなところに、水平に置いてください。立てかけて保管は変形の原因になります。
- ③積み置きは地面に直接置かず、不陸にならないよう角材等の飼木をしてください。
- ④施工現場に仮置きする場合は、雨掛かりを防ぐため防水シートで保護してください。
- ⑤運送時の損傷を防ぐためロープを掛け、角には必ず当て板をしてください。
- ⑥荷扱いの際は、衝撃を与えないように丁寧に扱ってください。
- ⑦波形スレートの上に乗らないでください。
- ⑧安全のためには、積み重ねの高さを1メートル以下としてください。
- ⑨車輛などで運搬するときは、清掃した荷台にパレット平積みとしてください。
- ⑩長さの違う板を積むときは長い板を下に積んでください。
- ⑪吊り上げるときは当て板などを用い、ロープ掛けによる損傷を防ぐようにしてください。

(2) 設計・材料使用上の留意事項

- ①防耐火等認定を使用する場合は、認定仕様に従ってください。
- ②踏み抜き等の事故を防ぐため、屋根には小波板の使用を避け、より強度の高い大波板を使用してください。
- ③高温にさらされる部位での使用については、お問い合わせください。
- ④屋内側が高湿度となる場合は、内部結露が発生することがありますので、十分換気してください。
- ⑤寒冷地で使用する場合は、凍害の恐れがありますのでご注意ください。
- ⑥屋根勾配と流れの長さによっては、降雨量により流水断面を超え、雨漏りとなることがありますので、技術資料等を参照の上設計してください。
- ⑦波形スレートの取り付け下地には、内装用の鋼製壁下地材（スタッド等）は使用しないでください。
- ⑧セメント製品のため、製造ロットにより色調が異なる場合があります。
- ⑨現場塗装をするとクラック発生の原因となる恐れがありますので、工場塗装の化粧波形スレートをご使用ください。
- ⑩波形スレートはビスの保持力がありませんので、樋受け金物、配電盤等は強度のある下地材に取り付けてください。

(3) 施工上の留意事項

- ①カタログ、技術資料等の施工要領に従って、正しく施工してください。
- ②踏み抜き事故防止のため、波形スレートの上には直接乗らないでください。

(4) 廃材処理の留意事項

- ①建設産業廃棄物を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下廃棄物処理法という）に従って処分してください。
- ②廃棄物処理法における廃棄物の排出事業者は、元請様となります。
- ③波形スレートの廃材は、「がれき類」として安定型処分場に処分できます。石綿含有波形スレートの廃材も同様ですが、「石綿含有産業廃棄物」として廃棄物処理法の規定に従うことが必要です。